

2017年12月26日

報道用資料

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会

「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」に 加藤一二三氏(棋士)

「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」に 日本ブラインドサッカー協会

-2017年度日本PR大賞が決定-

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会（理事長：近見竹彦）はこのほど、2017年度の「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」に棋士の加藤一二三氏を、「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」に特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会をそれぞれ選出、表彰することを決定いたしました。

日本PR大賞は、広報・PRの視点から毎年もっとも活躍した人を「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」として、また地道で独創的な広報・PR活動を通じて地域社会の発展に貢献した個人または組織を「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」として表彰するもので、1998年に日本PR大賞として創設して以来、年1回の表彰を行っています。

なお、本年度の「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」両賞の選考・授賞理由は次ページのとおりです。

なお、同賞の授賞・表彰式は新年1月25日、六本木・国際文化会館で開催される「新春PRフェスタ2018」（主催：日本パブリックリレーションズ協会）において行います。

「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」

■受賞者 加藤一二三氏（棋士）

■授賞理由

1954年に当時の最年少・史上初の中学生プロ棋士となって「神武以来の天才」と称されて以来63年間、第一線で戦い続け、2017年に惜しまれつつ引退。

引退後は「ひふみん」の愛称で、さまざまなメディアにおいて将棋への情熱を独特の語り口で訴える姿は、将棋を知らない人たちに対しても広く関心を喚起し、平成における将棋ブームを牽引する原動力となった。

「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」

■受賞者 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会

■授賞理由

ブラインドサッカーを通じて、視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会を実現することという明確なビジョンのもと、16年以上にわたり、視覚障がい者スポーツの「ブラインドサッカー」の普及・定着化のために活動している。活発な情報発信、オープンな情報開示姿勢、コンテンツづくりの多様性など、PRの観点からも学ぶところが大きい。

■日本PR大賞とは

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会が、パブリックリレーションズに対する理解促進を目的に、その基本理念であるパブリックインタレスト（公益）に貢献した人、あるいはそれぞれの分野でPRの視点から活躍した人物を毎年「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」として選考、顕彰している。また2012年度から協会が公益法人への移行を機に、従来の「PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」とは別に、企業や団体に長年にわたり独創的な広報・PR活動を実践し、広く社会や地域の発展に寄与し、奨励に値する成果を収めた個人またはグループ（NPOを含む）を「PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」として顕彰している。

■PRパーソン・オブ・ザ・イヤー歴代受賞者(肩書は当時)

平成28年度（2016年度）

小池百合子氏（東京都知事）

平成27年度（2015年度）

リーチ・マイケル氏（ラグビー日本代表主将）

平成26年度（2014年度）

唐池 恒二氏（九州旅客鉄道株式会社（JR九州）代表取締役会長）

平成25年度（2013年度）

佐藤 真海氏（サントリーホールディングス株式会社 CSR推進部・パラリンピアン）

平成24年度（2012年度）

ドナルド・キーン氏（米コロンビア大学 名誉教授）

平成23年度（2011年度）

佐々木 則夫氏（サッカー日本女子代表（なでしこジャパン）監督）

平成22年度（2010年度）

池上 彰氏（ジャーナリスト）

平成21年度（2009年度）（この年までは「日本PR大賞」）

辻井 いつ子氏（ピアニスト 辻井 伸行氏の母親）

平成 20 年度（2008 年度）

該当者なし

平成 19 年度（2007 年度）

東国原 英夫氏（宮崎県知事）

平成 18 年度（2006 年度）

川島 隆太氏（東北大学 加齢医学研究所教授）

平成 17 年度（2005 年度）

野口 聡一氏（宇宙航空研究開発機構 宇宙基幹システム本部有人宇宙技術部宇宙飛行士）

平成 16 年度（2004 年度）

古田 敦也氏（日本プロ野球選手会会長・ヤクルトスワローズ選手）

特別賞 故 伴 信雄氏（日本パブリックリレーションズ協会 初代理事長）

平成 15 年度（2003 年度）

北川 正恭氏（早稲田大学大学院教授・21 世紀臨調代表・元三重県知事）

平成 14 年度（2002 年度）

川淵 三郎氏（前日本プロサッカーリーグ チェアマン）

特別賞 茂木 友三郎氏（日本醤油協会会長、醤油PR協議会会長）

平成 13 年度（2001 年度）

野口 健氏（登山家）

平成 12 年度（2000 年度）

柳井 正氏（株式会社ファーストリテイリング 代表取締役社長）

平成 11 年度（1999 年度）

乙竹 洋匡氏（『五体不満足』の著者）

企業部門賞受賞者 カルロス・ゴーン氏（日産自動車株式会社 COO）

文化・スポーツ部門賞 松坂 大輔氏（プロ野球選手（西武ライオンズ））

社会部門賞受賞者 乙竹 洋匡氏（『五体不満足』の著者）

特別賞 福川 伸次氏（電通総研所長）

平成 10 年度（1998 年度）

中坊 公平氏（弁護士・株式会社住宅金融債権管理機構 代表取締役社長）

企業部門賞受賞者 沢田 秀雄氏（株式会社エイチ・アイ・エス 代表取締役社長・スカイマークエアラインズ株式会社 会長）

文化・スポーツ部門賞 KONISHIKI（元大関小錦・タレント）

社会部門賞受賞者 向井 千秋氏（宇宙飛行士・医師）

特別賞 猪狩 誠也氏（東京経済大学 教授）

■PRシチズン・オブ・ザ・イヤー歴代受賞者（肩書は当時）

平成 28 年度（2016 年度）

くまモン（熊本県マスコットキャラクター）

平成 27 年度（2015 年度）

いすみ鉄道株式会社

平成 26 年度（2014 年度）

NPO法人富岡製糸場を愛する会

平成 25 年度（2013 年度）

NPO法人本屋大賞実行委員会

平成 24 年度（2012 年度）

大廻 政成氏（財団法人 丸岡町文化振興事業団 常務理事）

<ご参考②>

(公社)日本パブリックリレーションズ協会について

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会(略称:日本PR協会(PRSJ))は、1964年に結成された日本PR協会と、1974年に設立された日本PR業協会が1980年に合併統合され、時代に即したPRの在り方の探求とPRの啓発・普及を図るために設立されました。

現在は、一般企業の広報部門、PR業およびPR業関連会社、それに有識者を含む約520名で組織されているPRのプロフェッショナル団体です。2012年4月には公益社団法人の認定を受けました。

主な事業としては、「各種研修」「セミナー」などの教育事業、会員相互の交流事業、「PR Yearbook」「協会ニュース」「PR手帳」などの出版事業、優れたPR事例を顕彰する「PRアワードグランプリ」、傑出したPRパーソンを表彰する「日本PR大賞PRパーソン・オブ・ザ・イヤー」、広く社会や地域の発展に寄与した人物・団体を表彰する「日本PR大賞PRシチズン・オブ・ザ・イヤー」の運営などを行っており、これらの活動を通じて「パブリックリレーションズ」の普及と啓発、広報・PRスキルの向上、倫理の徹底を推進しています。

2007年からは、PRパーソンとしての知識やスキル、職能意識を認定する「PRプランナー資格認定制度」をスタートさせ、協会内外の広報・PRパーソンや、広報・PRに興味を持つ学生など、幅広い人々に「PRプランナー」などの資格を付与しています。

2009年10月には、時代の要請に応える広報・PR人材育成センターを目指し、実務能力の向上を目的とした「広報PRアカデミー」を新たに開講いたしました。

また2010年4月に「広報・PR概論(PRプランナー資格認定制度1次試験対応テキスト)」、2011年3月に「広報・PR実務(PRプランナー資格認定制度2・3次試験対応テキスト)」、2012年4月に「広報・PR資格試験問題集PRプランナー資格認定制度1次・2次・3次試験過去問題集」を出版するなど、各種の事業を通じて、広報・PRの普及と発展に寄与しています。

この件に関するお問い合わせ先

(公社)日本パブリックリレーションズ協会

担当：福家・渡邊

TEL：03-5413-6760

FAX：03-5413-2147